A.P. シン
国際会長
2025ー2026年度

リーダーシップこそ奉仕、奉仕こそリーダーシップ。

この世界を、私たちが受け継いだ時よりよいものにして、次の世代に残したい。力を合わせて行う奉仕が、それを可能にします。

そして、会員を増やすことで、私たちの奉仕はもっと拡大できます。

「ライオンに
なることで、
人として
成長できました。」

彼の世界を形造ったもの

A.P.シンの故郷インドは、他に類を見ない国だ。インドは人類文明発祥の地であり、その文化の起源は数千年前にさかのぼる。そんな悠久の歴史にもかかわらず、現代インドはこれまでにない若さと繁栄に満ち溢れている。

コルカタで生まれたA.P.は、詩人タゴールの夢を胸に抱いて育った。

心には恐れがなく 首をすくめることのないところ

世界が狭き内政の壁に 分かたれることのないところ

澄みきった理性のせせらぎが
死せる因習の砂漠に迷い込むことのないところ

そのような自由の聖域へと、我が父よ、
我が祖国を目覚めさせたまえ

そしてこれこそ、A.P.がライオンとして掲げるビジョンだ。

彼は、奉仕とリーダーシップは表裏一体であると信じている。ライオンズは、偉大なリーダーになろうと努力するのではなく、ただ全力で人のために奉仕をしようとする。その奉仕の結果、ライオンズは偉大なリーダーへと成長するのだ。

この奉仕とリーダーシップの融合が、私たちを**サーバントリーダーシップ**というより崇高な境地へと導くものであり、A.P.は、これこそが私たちの組織の目指すべき姿だと考えている。

そういう意味では、彼をライオンズに導いたのは、運命だったのかもしれない。

「ライオンになって、私は人として成長できました」と彼は言う。「そしてライオンとして生きる中で、自分には他者に対する義務があることに気づかされました。ありがたいことに、それを実行する手段も同時に与えられたのです」。

A.P.に影響を与えたのは、故郷で身につけた分かち合いの原則と、ハリール・ジブラーンの思想だ。

あなたが自分の持ちものを与えるなら、まだ少ししか与えていない。
自分自身を与えてはじめて、真に与えたといえる。

自分の井戸が満たされているときにおぼえる渇きへの恐れは、決して満たされることのない渇きではないか？それゆえ、今すぐ与えなさい。与える季節があなたのものとなり、あなたの相続人のものにはならないように。あなたはしばしば言う、「与えるつもりはある、ただし受けるに値する者にのみ」と。

あなたの果樹園の木々はそうは言わない。あなたの牧場の群れもそうは言わない。

彼らは生きるために与える。出し惜しむことは滅びることだからである。

日々夜々を与えられている者が、あなたからその他のすべてを受けるに値しないはずがあろうか。

生命の海から飲むことを許された者が、あなたの小さな流れで杯を満たすことを許されないはずがあろうか。

A.P.の価値観のルーツがインドだったとすれば、A.P.の奉仕の人生が動き出した場所はライオンズだ。インド人の心とグローバルな精神を両方持ち合わせた今の彼は、異文化環境の中で、ミッション**1.5**時代を迎えたライオンズを発展させる準備ができている。

サーバントリーダーとして、A.P.はライオンズの声に耳を傾け、その上で世界のライオンズの代弁者となり、自らが最初の奉仕者（サーバント）として行動したいという強い思いに駆られている。

ライオンズ拡大のビジョン

他の多くのライオンズと同様、A.P.もライオンとして歩み始めた当初は、自分のクラブと地域社会だけに目を向けていた。しかし、世界各地のライオンズフォーラムや大会に参加し、そこで出会ったライオンたちと親睦を深めるなかで、徐々にグローバルな視点で物事を見るようになった。

世界は多様性に富んでいるが、国際理解のための架け橋を築き、地域社会で奉仕することの重要性においては共通している。

世界中のすべての地区を拡大する必要があること、そして力を合わせればそれが可能であることを、A.P.は確信している。

A.P.は言う。「人がいなければ、組織は成り立ちません。」

奉仕のないライオンズクラブには意味がなく、成長しないライオンズ地区は協会への責任を果たしているとは言えない。私たちは伝統を絶やさず、奉仕の灯火を明るく燃やし続けなければならない。より多くの人々に奉仕できるよう、私たちは成長しなければならない。

A.P.は、会員を増やすことを — そしてそれによってもたらされる奉仕の増加を — 私たちが目指すべき最大の目標と考えており、新クラブを立ち上げ新会員を加えることが私たちの未来にとって不可欠であることを、ライオンズにはよく理解してもらいたいと願っている。

「道は二つに一つです。ここで連帯して成長を目指すか、あるいは弱り果て徐々に衰えゆく人のようにゆっくりと滅びていくか」。ライオンズ・インターナショナルは人類への最高の贈り物であり、自然災害、糖尿病、小児がん、視力障害、気候変動などの社会問題によって立ちこめる絶望の暗雲に一条の光をもたらす存在だ。

A.P.は、ライオン一人ひとりに果たすべき役割と返すべき借りがあると信じている。

私たちは皆、誰かがライオンズに誘ってくれたから、今日ここにいる。私たちのクラブを結成しようと尽力してくれた人がいたからこそ、今日ライオンとして活動している。今度は私たちが地区に次のクラブを作る番だ。

こうして私たちの奉仕が成長する。こうして私たちの伝統が成長する。これこそが、世界中のライオンズがミッション**1.5**を通じてクラブと奉仕を成長させようと奮起している理由だ。

A.P.は、会員こそが中核だと考える。リーダーシップを揮うのも、奉仕をするのも、会員。

私たちを定義するのも、私たちを動かすのも、会員。そして私たちを前進させるのも会員だ。

MISSION1.5

リーダーシップこそ奉仕、奉仕こそリーダーシップ。

奉仕するとき、私たちは仲間のライオンズやレオとともに立ち上がります。世界の人々とともに立ち上がります。そして、私たちは思いやりという、奉仕する人全員の心を動かす原動力のために立ち上がります。

レオとレオライオンは、私たちの未来ではありません。私たちの今です。若者たちも大切な主役のひとりなのです。女性と若者には、力を発揮し成長できる空間と自由を与えなければなりません。

変化とは、待つものではなく、起こすものです。

「多様性は、組織に新鮮さと活力をもたらします。」

何であれ、価値あるものを築こうとするなら、チームワークと、意識的なアクション、そして情熱と使命感に突き動かされたリーダーシップが不可欠であることを私たちは知っています。それは、ライオンズだけが実現できるリーダーシップです。

組織を拡大してインパクトを高めるためには、私たち全員が協力しなければなりません。奉仕において世界をリードすることで、模範を示さなければなりません。ライオンズが過去に成し遂げた偉大な業績は、常にたたえられるでしょう。しかし私たちは、協会を成長させることで、素晴らしい現在を確かなものとし、輝かしい未来を創出しなければならないのです。

ライオンズは、リーダーシップを発揮することで社会に奉仕し、奉仕をすることでリーダーシップを発揮するのです。

リーダーとして先頭に立ち、より多くの手で奉仕を

私たちが奉仕するのは、世界をよくするため。私たちが拡大を目指すのは、その奉仕のインパクトをより大きいものにし、地域社会をより力強いものにし、私たちの未来をより確かなものにするためです。これこそが、ライオンズ・インターナショナルを世界最高峰のクラブ奉仕団体たらしめてきた理念です。

以下にご紹介するグローバル優先項目を推進することで、私たちはこれを率先して行うことができます。

クラブと奉仕を拡大する

ライオンズクラブは「みんなの団体」。ボランティアによる奉仕クラブ団体です。会員が増えることは、奉仕が強化・継続・拡大され、結果として世界の増え続けるニーズが満たされることを意味します。

どの国にも通貨がありますが、ライオンズ・インターナショナルの通貨は会員です。奉仕も、交流も、人脈作りも、PRも、資金獲得も、さらにはLCIFへの寄付までもが、ライオンズとそのクラブによって行われます。常に組織を強化し、入会者と退会者の比率を良好に保つ必要があります。ライオンズがいなければ奉仕は考えられません。私たちの奉仕能力を高め、やむを得ない理由による会員減少を補うためには、会員とクラブを絶えず増やし続けるほかありません。私たちが未来の可能性を広げていく上で、成長は不可欠です。

会員を増やし、維持し、また新クラブを結成することでミッション**1.5**に貢献した会員、クラブ、地区には、年間を通じて表彰が行われます。国際協会を拡大成長させることは、すべてのライオンの暗黙の責任であり、選出または任命された役員一人ひとりの会則上の義務です。

ミッション1.5は私たちの協会を動かすオペレーティングシステム（OS）であり、奉仕の帯域幅を広げるためには、

MISSION1.5

「ミッション1.5は、あらゆるクラブを もっと力強く、もっと活気のあるものにし、あらゆる奉仕の行為を もっとインパクトのあるものにするためのものです。」

私たちのあらゆるリソースをその目標達成に集中させる必要があります。

ともに奉仕に力を

ライオンズがライオンズクラブ国際財団（LCIF）を支え、LCIFが私たちの奉仕を支えます。この協力を通じて、私たちは奉仕を受ける人々や私たちの住む町に投資しているのです。協会と財団はともに、地域社会が直面する数々の大きな課題に長期的な解決策を見つけます。LCIFを支援することで、あなたもその解決策の一端を担うことができます。

LCIFは、企業、NGO、政府機関とのパートナーシップ構築を精力的に行っています。なぜなら、こうした協力関係が賢明かつ効果的な奉仕を行うカギとなるからです。

LCIFへの寄付は、安全と、安心と、よりよい明日への投資であると、A.P.は信じています。

奉仕に革新を

世界の課題に立ち向かうためには、まず自分自身に課題を課さなければなりません。イノベーションと、常に改善する姿勢を受け入れることで、私たちは活動のインパクトと、会員の満足度、そして奉仕の提供のすべてを向上することができます。

国連の持続可能な開発目標（SDGs）から地区で特に力を入れたい項目を選び、さらにメンタルヘルス、環境保全、食料支援に集中的に取り組むグローバル奉仕週間に合わせて事業を計画するよう地区内のすべてのクラブに奨励してください。

各種リーダー研修プログラムも、機会があるごとに組織拡大の重要性を強調するものへと改訂されています。

継続的な改善には終わりはありませんが、始めるべき時は今です。

多様性を歓迎し、皆を受け入れる

私たちは地球上のほぼすべての国で奉仕しています。ですから、ライオンズの奉仕には、もっと多くの人々、特に若者、女性、文化的背景の異なる人々を参加させる必要があります。インクルーシブな環境は、世界に奉仕し世界を反映する組織を作ります。

私たちは、すべてのクラブと地区の文化とアプローチを、若者と女性が参加しやすいものにしなければなりません。

あらゆる人種や性別のメンバーを誘うことが奨励されます。世界中に奉仕を届けているのですから、奉仕の心を持つ人全員に声をかけるべきです。

すべての奉仕が成功につながる

私たちの成功を決めるのは、奉仕です。以下は、奉仕でもっと大きな成功を収めるための主なステップです。

ネットワークを拡大する

世界中に広がるライオンズのネットワークは、世界を身近なものにしてくれます。会員として学び、成長し、つながり、奉仕する機会を目一杯活用して、ライオンズの持つ集合知と、多様な文化的視点、そして成功を自分のものにしましょう。

ライオンズは、ネットワークをさらに拡大することで、世界中で知識を積み上げ、架け橋を築くべきです。A.P.はまた、若い起業家を呼び込むために、できるだけ多くの地区で「ライオンズ・ビジネス・ネットワーク」を構築するよう奨励しています。さらに、奉仕ツーリズムの一環として、他の地区や、国内、海外などを訪問し、訪問先のライオンズと出会い、異なる地での成功事例を学んだり、自分の視点を分かち合うよう奨励しています。

自ら模範を示す

メンバーたちは、リーダーが言って聞かせることに従うのではなく、リーダーがやって見せることに従います。リーダーシップにおいて大切なのは、何人を従えられるかではなく、何人のリーダーを生み出せるかです。

すべての組織は時間とともに進化する必要があります。私たちは変革を促さねばなりません。なぜなら、昨日意味のあったことも、今日には意味を失っているかもしれないからです。相手の最大限を引き出す模範となり、それによって自分の最大限を引き出してください。そのためには学ぶこと、そして時には忘れることも必要かもしれません。

テクノロジーの進歩についていく

テクノロジーは今や私たちの暮らしの一部であり、奉仕のあり方を改善する新たな機会を生み出しています。若い世代の考え方には戸惑うこともあるかもしれませんが、彼らはデジタル接続が当たり前の環境で生まれ育った全く異なる世代であり、私たちは彼らの意見に柔軟に対応する必要が多分にあります。

組織の力は、その組織が使うテクノロジーと変容する世界への対応力に大きく左右されます。ライオンズはその長い歩みの中で、変化に対応し、成長してきました。今こそ、より多くの人に手を差し伸べてより大きな発展を遂げるために、クラブや地区で人工知能（AI）の力も取り入れるべき時です。

テクノロジーを受け入れ、その進化に歩調を合わせれば、あらゆるレベルの活動にメリットがあり、若い世代のボランティアともよりよく繋がれます。ですから、私たちの前進と発展のためにこうしたツールを活用しましょう。私たちのマントラは、
「すべてのライオンが、リーダーとなり、奉仕をし、成長を目指す」です。

We Serve

Lead to Serve, Serve to Lead.
リーダーシップこそ奉仕、
奉仕こそリーダーシップ。